

ひろしまの 土地改良



2016年 第246号



第14回ひろしまの農村フォトコンテスト 審査委員特別賞
「豊作を願って」 中村 信之(撮影場所:安芸高田市)

●中国四国土地改良事業団体連合会協議会 平成28年度農政局へ政策提案活動

平成28年6月28日、中国四国農政局において、中国四国土地改良事業団体連合会協議会を代表し、広島県土地改良事業団体連合会羽田皓会長が、坂井農政局長、次長、部長、課長等出席の方々に平成29年農業農村整備事業の予算編成と事業制度等に関する提案活動を行いました。

【提案事項】中国四国土地改良事業団体連合会協議会

1. 中国四国地域の農業農村整備に必要な財源の確保について
2. 多面的機能支払交付金の予算確保について
3. 農業基盤整備促進事業並びに農地耕作条件改善事業の予算確保について
4. 農山漁村地域整備交付金の予算確保と制度拡充について
5. 土地改良区体制強化事業の支援拡大と土地改良施設維持管理適正化事業の実施要件の見直しについて
6. 小水力等再生可能エネルギー導入推進事業実施期間の延伸について



坂井農政局長に政策提案書を提出する羽田会長



ホタル祭りの準備



なひろだに案内の看板

成広谷の概要

- 設立年月日：平成19年4月1日
- 所在地：三次市三和町羽出庭
- 農地面積：44.4ha
- 活動内容：草刈り、泥上げ、鳥獣害対策、ホタル観察会、平成27年度より長寿命化へ取り組み
- 農業用施設：水路、ため池、農道

自分たちの地域は自分たちの手で守る ～積み重ねの活動が実を結ぶ～

なひろだに 成広谷

三次市三和町で多面的機能支払交付金に取り組む「成広谷^{なひろだに}」は、三次市の南端に位置し、東西に流れる今出原川に沿った谷状の地形です。昭和53年に県営ほ場整備事業が完了し、農業機械の大型化が図られたものの、広大な法面の管理に苦慮しています。

平成12年度から中山間地域等直接支払制度に取り組み、地域の農業環境の向上に務める傍ら、予てから問題となっている高齢化による担い手不足や耕作放棄地対策について、「農業の存続と集落の自立」を目指し話し合いを重ねました。平成17年「農事組合法人なひろだに」を設立したのを契機に、平成19年度から多面的機能支払交付金（旧農地・水・環境保全向上対策）に取り組んでいます。農業者の約8割が加入する（農）なひろだにを中心に、地域全体で草刈りや泥上げ、また環境保全活動ではゴミ拾いを行い、集落の将来的なビジョン「集落は自分たちの手で守る」を掲げて、実現に向けて歩みを進めています。



ため池の草刈り



水路の泥上げ



地域内の一斉清掃

平成25年度に「鳥獣被害対策モデル集落」に選定され、県や市の指導を受けながら集落ぐるみで「環境改善」や「侵入防止」等へ取り組んでいます。地域研修会を開き、集落内の猪や鹿の潜み場所を確認、耕作放棄地の発生防止に向けた草刈り計画を立案するなど、地域全体で取り組むため意志統一を図っています。また、集落を取り囲むようにワイヤーメッシュ柵を設置し、ほ場はネットや電気柵で囲うなど工夫しています。

毎日のこまめな点検や、餌付けにつながる行為をしないなど決まり事を一つひとつキッチリ守り、全員で粘り強く対応していくことの重要性を身を持って実感しています。このような地域一丸となった取り組みを、皆さんに紹介したいと事例発表を依頼される機会も多く、活動の励みになっています。



防護柵の補修・設置



長寿命化 水路の更新

ほ場整備完了から30年以上が経過し、施設の老朽化が深刻な課題となり、平成27年度から「施設の長寿命化」への取り組みをスタートしました。地域を流れる水路14本を全て点検後、優先順位を協議し、補修・更新に取り組んでいます。

地域の中央を流れる今出原川はホタルが多数生息しており、小学生や地域住民が連携しホタルの勉強会を開催するなど、環境について意識を高めています。

毎年6月に開催される「なひろだにホタル祭り」は、今年で11回目を迎え地域活性化の一端を担い、地元住民はもとより他地域や、県外から参加した大勢の人で賑わいます。「成広谷」も協賛し、水路や道路の清掃や缶拾いなど、定期的な環境整備に取り組み、当日は参加者を歓迎する幟や、地域のみんで描いた灯籠を準備し観察会を盛り上げています。ホタル祭りの催しの1つ「ホタル籠作りの体験コーナー」では、子どもたちと一緒にホタル籠作りを通じての交流や、地元で栽培しているこだわり米、もち米、大豆などの食材を使い、(農)なひろだに女性部が中心となって作るちらし寿司、お赤飯、柏餅、豆腐、おからドーナツは、当日売り切れてしまうほどの人気商品で、ホタル祭りの呼び物の1つになっています。



子どもたちとホタル籠作り



地域と連携した生態系保全活動



ホタル祭り開催案内

なひろだにの畑で栽培している大豆を使った豆腐は、広島県内で広く販売されるほか、学校給食にも提供され、地域で親しまれている特産品です。子ども達は、(農)なひろだにをはじめ地元の人たちに教わりながら、大豆の種蒔きや収穫、豆腐の加工体験を通し、地域農業に触れています。

後継者育成に力を入れ、この先も農地や農業用施設を維持できるように、みんなで共通の意識を持ち続けて取り組んでいきたいと考えています。



地域の特産品なひろだに豆腐

中山間地域等直接支払交付金に係る事務支援

広島県土地改良事業団体連合会では、中山間地域等直接支払交付金の事務を支援いたします。「どんな活動をすれば良いかわからない」、「パソコンが使えないので事務処理が大変」といった場合はご相談ください。

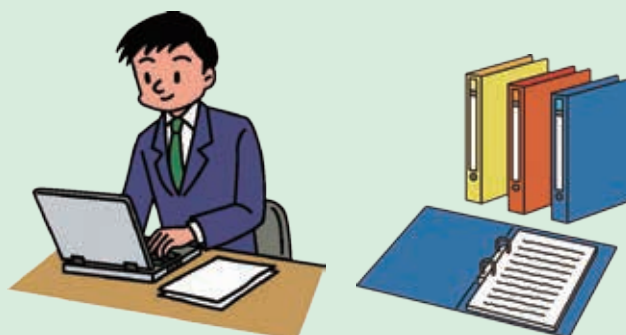
活動の記録や報告書類の作成等についてサポートいたします。

支援内容や事務委託費など分からないことがありましたら、お問い合わせください。

《支援内容》

- 金銭出納簿の整理。
- 活動の作業内容や記録を整理。
- 取組活動の写真台帳の作成。
- 源泉徴収に関わる計算など。

(その他、支援内容やお困りの点については
ご相談ください)



【問い合わせ先】総務部地域支援課 ☎082(502)7476

三川ダム小水力発電施設が発電を開始しました

～再生可能エネルギーの活用で『ダム管理費』と『CO₂排出』を低減～

1 概要

- 平成24年に再生可能エネルギー特別措置法が施行され、国の固定価格（いわゆる「FIT価格」）買取制度が示されるとともに、農林水産省の補助事業の拡充により、小水力発電施設の整備が可能となったことから、広島県が管理する三川ダムにおいて小水力発電に取り組むこととしました。
- 平成25年度から建設事業に着手し、平成28年3月に小水力発電施設が完成、同年5月11日から発電及び売電を開始しています。
- このことにより、ダム管理費を低減できるだけでなく、温室効果ガス（CO₂ガス）の排出を抑制することで、環境負荷の低減に貢献できると考えています。



2 ダム管理費の節減

再生可能エネルギーに関する国の固定価格買取制度が適用されており、年間約6,700万円、20年間で総額13億5,000万円の売電収入を見込んでいます。

⇒ ダム管理費を約3割削減

《事業概要》

- 事業名 県営基幹水利施設補修事業
- 実施年度 平成25～27年度
- 総事業費 529百万円
- 事業内容 小水力発電施設 1箇所

3 温室効果ガスの抑制

最大出力460kW、年間発電量2.14GWhとなり、一般家庭510世帯分の電力を供給できます。

⇒ 年間約1,513 t の温室効果ガス（CO₂ガス）削減に相当

《小水力発電施設概要》

- 設計流量 1.40m³/s
- 有効落差 42.6m
- 水車発電機 横軸フランシス水車誘導発電機
- 最大出力 460kW
- 年間発電量 2.14GWh



発電施設内（中央が水力タービン）



ダム全景と発電施設建屋（写真左下）

お問い合わせ先

広島県農林水産局農業基盤課：☎082-513-3650

研修会開催予定のご案内

広島県土地改良事業団体連合会では、会員等(含、県・市町の担当者)の皆様を対象として、本会会館において下記の研修会の開催を予定しています。対象となる関係機関の皆様へは近日中に詳細な案内をいたしますので、多数のご参加をお待ちしております。

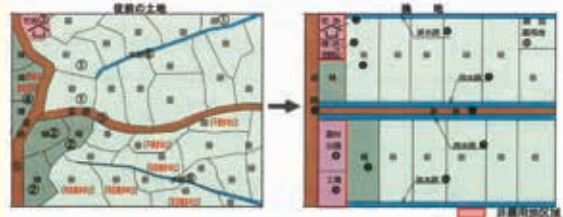
【平成28年度新規担当者(兼換地計画実務)研修】

<目 的> 換地事務を担当する者の技術の向上を図る。

<日 時> 平成28年8月1日(月)10:30
～8月5日(金)17:00

<講 師> 広島法務局、県、連合会

<予定科目> ・広島県の農業農村整備の推進方向 ・土地改良法他の関係法令
・表示登記 ・相続登記 ・換地理論 ・確定測量 ・換地選定
・土地評価と清算 ・非農用地換地の概要等



【平成28年度土地改良区体制強化事業複式簿記促進研修】

<目 的> 土地改良区の役職員等を対象に複式簿記導入の促進を図る。

<日 時> 平成28年9月1日(木)
10:30～17:00

<講 師> 全土連中央換地センター、
中国四国農政局土地改良企画課

<予定科目> ・会計制度 ・複式簿記の基本 ・検査指導基準 ・会計基準について
・会計記帳実務 ・資産評価 ・原価償却等

複式簿記のルール

借方		貸方	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
		一致	

<http://kigyouno1.com/book-keeping-rules-1433>抜粋

お問い合わせ先

事業部換地測量支援課：☎ 082(502)7477

ふるさとの田んぼと水 子ども絵画展2016 作品募集

応募資格：小学生以下。クラスや学校単位での共同作品も可。

テーマ：「新発見!ぼくのわたしのふるさと」

応募メ切：2016年9月12日(月)

応募先・お問い合わせ先

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町2-10

日本経済広告社ビル6F「ふるさとの田んぼと水」子ども絵画展事務局

TEL：03-3292-5541 Fax：03-3292-5089

E-MAIL：midori@reception-desk.jp

応募チラシの写真は「第14回ひろしまの農村フォトコンテスト」最優秀賞「棚田の恵み」木本剛義さんの作品が使われています。



青年農業家インタビュー Young man farmer Interview No.5

5回目を迎えた「青年農業家インタビュー」。

今回は呉市倉橋町発祥の「お宝トマト」を栽培されている立花隼人さんにお話しを伺いました。

青年農業家たちの昨日・今日・明日

お宝トマト生産組合 立花 隼人さん



色づき始めたトマト (facebookより)



お宝トマト生産組合のハウス

概要

会社名	お宝トマト生産組合
構成員	8人
所在地	広島県呉市倉橋町
作物・面積	トマト(64a) ネギ(2ha)
品種	ハウス桃太郎

——トマト農家を志したきっかけを教えてください

学生時代は工業大学で環境デザイン学科に在籍し、就職活動に励んでいたのですが、両親から「トマトをやってみないか？」と声を掛けられたのがきっかけです。丁度この時期トマト団地が造成され農地も拡大し、トマト農家で育ち両親の手伝いもしていたので自分がやるのが自然の流れなのかな、と受け止めました。

——やりはじめて当初の状況はどうでしたか

最初は小さなハウスで栽培していましたが、トマト団地の造成が平成20年度に完了したことから、本格的にトマト農家を志す決意を固めました。当初は学校の運動場にトマトを植えるようなもので、土づくりには2~3年を要し、収穫に行きつくまでは4~5年かかりました。造成地完成後、約7年間は1からのトマト栽培の日々でした。

——「お宝トマト」のネーミングやブランド化について

この島は宝島倉橋と呼ばれているので、お宝トマトでいいんじゃないかと名付けました。島のイベントも「宝島倉橋フェスティバル」と呼ばれ、野菜や色々な作物に「お宝」と名付けられています。出荷先は殆ど市場を通じ大手スーパーに卸しています。スーパーからのニーズも高く、化学肥料を使わずに程度な塩分による味をブランド化しようと「お宝トマト」の商標登録を勧められ、平成16年に取得しました。日当たりがよく水はけのいい環境にも恵まれ、かみごたえのある皮に「濃いうまみ」の詰まったトマトは年々定着し、去年は広島市内のスーパー2店舗に出向き対面販売、「お宝トマト」=倉橋と覚えてもらえ、地域のPRにもなっています。



立花 隼人さん

—どのようなことにこだわりを持たれていますか

栽培の過程を記録に取って数値化し、履歴に基づいて研究しながら、自分の考えたとおりになるかを見極められる点に魅力を感じています。数値化はハウス内の環境が1目瞭然で、温度の調整具合によりトマトへの栄養の増え方がわかり、明らかにいいという結果が出れば、それは自分の技術になります。問題点が残れば次のシーズンの材料になり、やり甲斐があります。1週間でどれだけ成長したか記録を取り、パソコンでグラフ化するなど伸びた原因を探ることも重要な作業です。昼夜問わずトマトと向き合いますが、次につながるのだと思うと充実しています。トマトの需要は高い反面、作り手も多く競争率も厳しいからこそ、踏み込んだ勉強や情報収集が必要と考えます。

倉橋農業青年クラブの若者達が集まる勉強会でも、「この木は強いよ」と言っても見た目ではわからないけど「何ミリあるよ」と数字で表せば誰でもわかり、ここから何ミリにするにはどうしたらいいかを話し合うことが可能となり、数値化は共通した認識を持って問題に取り組めるのがいい点です。



トマトの花



ハイワイヤー方式にチャレンジ



お宝トマト
(いずれもfacebookより掲載)

—まわりの人達との交流について

研究の成果を部会で発表する機会をいただき、出席された方の中には「試してみたい」と関心を持たれる人もいて、自信にも繋がりがよってよかったですと思っています。また、社会人講師として高校生にお話しして欲しいという依頼から、農業者として取り組んできたことを話す機会にも恵まれ、若い人たちに少しずつ農業を伝えていきたいという気持ちも生まれています。

近くにおられるトマト農家さんの話を、他県で研修させてもらった農家の皆さんから聞くことになり、常々行きたいと思いつつも近いがゆえに行っていなかったと、この出会いをきっかけに伺わせてもらいました。先進的な環境面の取り組みを視察できたのは大きな刺激になり、最近はフェイスブックからも交流させてもらい情報をいただいたりしています。

—これからのことについて

ここ2年くらい生育環境面の勉強をしていましたが、土壌の知識をもっと増やし、土で作るトマトにこだわりを持って作っていくつもりです。面積も増やしたいという思いはありますが、担い手が増えないことには…。現在、庄原の農業大学校から研修生を受け入れ2年目になります。「若い人達が増えたら来てくれたら。若者は元気ですから。」と地域活性化をめざし、後継者づくりにむけた道を探っています。

お宝トマトのfacebookはこちらからご覧になれます。

[お宝とまと@宝島倉橋](#)

検索

—インタビューを終えて

「お宝トマト」のブランドはもとより、親世代が築いてきた土台があったからこそ思い切って新しいことにチャレンジできる。と、トマト農家の2代目、立花さんは両親への感謝も口にされていました。ご多忙な時期にお伺いしたにも拘わらず、「トマトのことなら1日中でもしゃべれます。」と快く対応いただき、ありがとうございました。

審査委員特別賞 **ピンクに染まる里**
秋月 静枝

満開の「水土里」・「笑顔」・「農業」

エネルギーなひろしまの農業・農村をお待ちしています！

第15回 ひろしまの農村フォトコンテスト

広報委員会特別賞 **親子の田植体験**
川崎 修司



優秀賞 **若き夫婦の挑戦**
佐野 克彦



広報委員会特別賞 **KG-3にお任せよ**
田中 努



※写真はいずれも「第14回ひろしまの農村フォトコンテスト」入賞作品

入賞作品には豪華副賞

最優秀賞1点

【賞金】1万円
【副賞】1万円相当の県内特産品

優秀賞2点

【賞金】5千円 【副賞】5千円相当の県内特産品

審査委員特別賞3点

県内特産品

広報委員会特別賞15点程度

県内農産品

●入賞作品は「合人社ひと・まちプラザ」ロビーにおいて展示を予定

応募
締切

平成28年10月31日(月)
(当日消印有効)



(写真提供：世羅高原カメラ女子旅)

観光農園などでの、癒された風景や、フルーツ狩り体験などもお待ちしております。

プロ・アマ
問いません!

スマホや**デジカメ**で

撮った写真や**データ**のみの応募もOK!!

カメラ女子
からの
応募大歓迎!!

これまでの
受賞作品はこちらから
水土里ネットひろしま



主催 ひろしま農業農村整備広報委員会
(広島県・広島県土地改良事業団体連合会)

後援 中国新聞社、NHK 広島放送局、中国放送、テレビ新広島、広島テレビ、
広島ホームテレビ、(株)日本農業新聞中国四国支所、JA グループ広島、
(株)シグマ広島

季刊ひろしまの土地改良 第246号

平成28年7月15日

編集：ひろしま農業農村整備広報委員会
発行：広島県土地改良事業団体連合会
印刷：佐々木印刷株式会社

〒730-0017 広島市中区鉄砲町4-1 広島県土地改良会館
◆TEL (082) 502-7470 ◆FAX (082) 502-7480

◆http://www.hdn.or.jp

住みやすく豊かな村づくり
水土里ネットひろしま